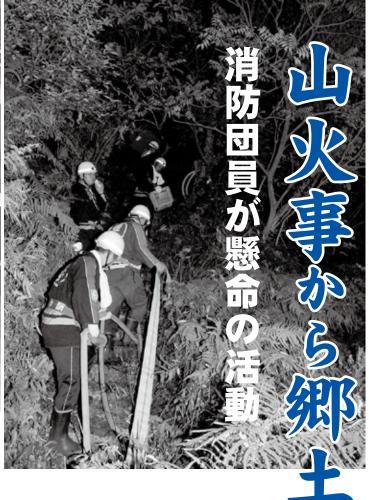




過去の山火事の経験で、水が無ければ山火事は消えないとの認識か ら、暗闇の中、重さ約100kgある小型動力ポンプやホースなどの資器 材を、火災が迫る世田山頂上に中継する消防団員の皆さん。

[写真提供:愛媛新聞社]

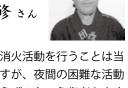


を守る

ことができました。 放水で食い止めることに成功し、 消防団員の皆さんは、 市境まで20以付近に迫った火の手を

西条市への延焼を防ぐ

西条市消防団長 藤田 修さん



消防団が消火活動を行うことは当 然のことですが、夜間の困難な活動 にもかかわらず1名の負傷者も出す ことなく見事に延焼を食い止めたこ とは日頃からの訓練の成果であると 団員の皆様に感謝をしております。

今後も西条市消防団は、西条市・ 消防本部と一丸となり、自らの町は 自らが守るという熱い気持ちを持っ て、市民の皆様の「安全・安心」を 守っていくよう努力してまいりたい と思っています。

員42名・市職員25名・消防団員384名を召集するとと 25日・16時30分に山林火災対策本部を設置し、 今治市内の山林約107窓を焼失しました。 高357㍍)中腹から発生した山林火災が延焼拡大し、 火災が西条市との境界に迫ったことから、市では8月 8月24日・17時10分ごろ、今治市朝倉上の笠松山 市消防職 (標

準備が完了後、夜通しの警戒に当たりました。 のふもとにある世田薬師駐車場東側の池から頂上まで、 ため、現地山林火災対策指揮本部の指揮により、世田山 資器材を担いで約1400㍍の山道を登り、 ポンプ車・小型動力ポンプなど20台とホース88本を延長 して中継送水の準備を行いました。夜間で危険が伴う中、 市境の世田山(標高339㎞)まで迫った火災を防ぐ 強力ライトの明かりを頼りに重い 中継送水の

防組織との協力体制の強化、 地震・火災・風水害などの災害発生時 消防団に必要な装備の充実確保に全力 化を図ることを目的として、消防団協 に地域防災の要となる消防団の充実強 刀事業所制度の早期実施および自衛消 ならびに

をお願いいたしまして、 のために、より一層のご尽力とご協力 が安心して暮らせる安全な地域づくり 団員の皆様におかれましては、 で取り組んでまいります。

西条市長 伊藤宏太郎

消防団員の皆様には、昼夜を問わず消この度の山林火災に出動されました 火活動にご尽力いただき、心から敬意

ース88本を頂上まで中継して消火活動 ある小型動力ポンプなど20台と消防ホ 市消防団384名が重さ約100㌔も 火の手が迫ってまいりましたが、 境である世田山頂上に延焼する勢いで を表しますとともに深く感謝を申し上 した山林火災は、8月25日夕方から市 今治市朝倉上の笠松山中腹から発生

延焼を食い止めていただきま

このことは、日ごろからたゆまぬ努

派遣を要請しました。

消防防災へリコプターの出動および自衛隊の災害